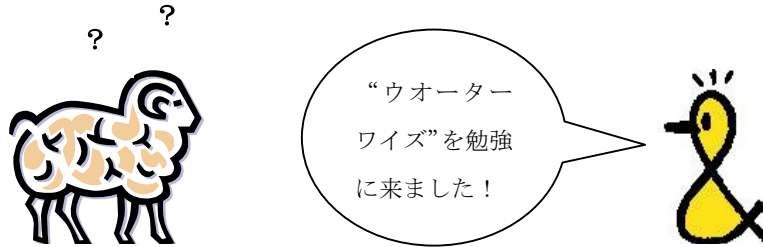


海洋教育の先進地、ニュージーランドに行ってきました！



ウオーターワイズはどこまで浸透しているのだろう？
日本の海洋教育に参考となるプログラムは？ etc

海洋性レクリエーションや自然体験活動を通じて、子どもたちの心身の育成に取り組んでいる B & G 財団。このほど、B & G 財団の海洋教育プログラムの充実と発展を図るため、B & G 海洋クラブの代表者とともに、2月12日（木）から18日（水）までの1週間の行程で「海洋教育の先進地：ニュージーランド」を視察してまいりました。

さすが、海洋教育の先進国と感心しきりのプログラムや、“ウオーターワイズ”ってニュージーランド全土に普及されてなかったんだ？など、百聞は一見にしかずの6泊7日視察レポートをお届けします。

『地域に根ざすヨットクラブ』

ヨットクラブ運営は、ウオーターワイズの補助金やロト（カジノ）からの補助金が出る。しかし、銀行や地元企業をはじめ地域の警察との協力による様々なアクティビティ（全てボランティア）からの資金提供が大きなウェイトを占めている。



活動には親もボランティアで参加

『ジュニアヨットプログラム』

ヨットクラブのメンバーに若い人が少なくなってきたことから、ジュニアのためのプログラムを立ち上げた。

プログラムはレベル1からレベル3までの3段階に分かれ、各レベルにはそれぞれ約20項目の技術的な条件が設定されている。



「レベル3」の模擬レース

『ウォーターセイフティプログラム』

3月に学校のキャンプ活動を行うための、全8回にわたる事前研修プログラム。

野外活動での基本となる水泳をはじめカヤックトレーニングでは、カヌーの漕ぎ方から転覆体験を、また、ゴムボートトレーニングでは、転覆したボート内からの脱出体験など、いずれも実践に即したトレーニングが行われていた。



実体験を通じた安全教育

ニュージーランド視察スケジュール

日 程	ス ケ ジ ュ ー ル
2月12日（木）	NZ098便でニュージーランド（オークランド）へ
13日（金）	Royal Akarana Yacht Club（ロイヤル アカラナ ヨットクラブ） 「ウォーターワイズプログラム」を聞く
14日（土）	ロイヤル アカラナ ヨットクラブ 「ジュニアヨットスクール」視察
15日（日）	地域のヨットクラブ視察 Kohimarama Yacht Club（コヒマラマヨットクラブ） Manly Sailing Club（マンリーセーリングクラブ）
16日（月）	オークランドからウェリントンへ移動 Water Safety New Zealand（ウォーター セーフティ 協会）訪問 ロイヤル ポート ニコルソン ヨットクラブ視察
17日（火）	ハット市営 フィア スイミングプール ウォーターセイフティプログラム視察 箕面市・ハット市交流センター訪問 ウェリントンからオークランドへ移動
18日（水）	NZ033便にて帰国

[【詳細記事はこちらをクリックしてください。】](#)